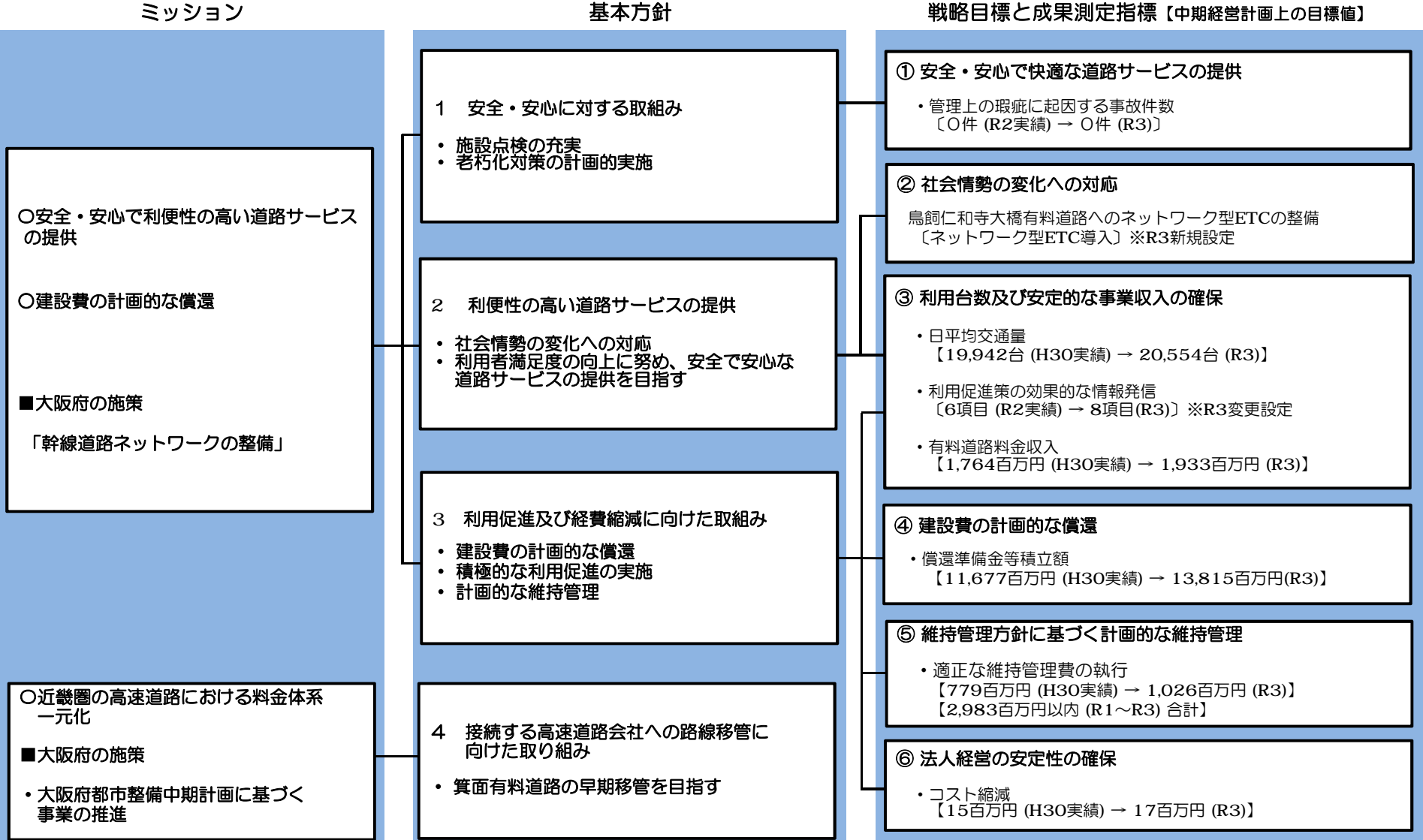


法人名	大阪府道路公社
作成（所管課）	道路室道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和2年度の経営目標達成状況及び令和3年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	目標値		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R1~R3)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						R2 実績値 【見込値】				R3目標値	最終年度 目標値	
④ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		百万円	40	12,351	12,703 [13,025]		13,669	40	13,815	13,815	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR3年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<p>○ 道路公社は、道路管理者に代って、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。</p> <p>○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。</p>											<p>中期計画(2019~2021)及び、お客様サービス向上戦略に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。</p> <p>①コスト削減の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し ○電力調達方式の見直し <p>②利用促進の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会社のホームページやTwitterを含む、ソーシャルメディアによる情報発信 ○運輸・サービス業の企業、観光協会などへの情報発信 ○近隣の集客施設やイベント等での利便性や等のPR活動 ○周辺の観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、路線情報リーフレットの発行 ○近畿の各社との連携による利用促進策の検討・実行 <p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・消防設備点検等) ○計画的な維持管理(鳥飼仁和寺大橋有料道路の防水工事等、箕面有料道路の監視制御設備補修工事等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上(箕面有料道路の誤進入対策等) ○社会情勢の変化への対応 <p>【利用者に対する新型コロナウイルス感染防止対策 鳥飼仁和寺大橋有料道路のキャッシュレス化等】</p>
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○ 管理路線を適正な状態に保ち、安心・安全で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たり的な維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。</p> <p>○ 国の予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)が減少傾向にある中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。</p> <p>○ 昨年発生した新型コロナウイルスへの感染防止対策など緊急事態時において求められる事柄へ柔軟に対応する必要がある。</p>											
活動方針	<p>○ H31年3月に策定した「中期経営計画(2019~2021)」に基づくとともに、時代の変革や急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう以下の取り組みを行う。</p> <p>1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理を実施するとともに、これにかかる維持管理費等について引き続き削減に取り組む。</p> <p>2 利用促進の取組み 観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、路線情報リーフレットの発行を行うとともに、その内容をソーシャルメディアを通じて、加えて、大阪府と連携し運輸・サービス業の企業や観光協会などへ情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。</p> <p>3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に掲げるライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進、利用者ニーズ、社会情勢の変化を反映したサービス向上に努める。</p>											

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	目標値		R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R1~R3)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						R2 実績値 〔見込値〕	R3目標値			R3目標値	最終年度 目標値		
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	10	0	0	0	0	10	—	—	穴ぼこ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理ハトロールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、ハトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
						0							
② 社会情勢の変化への対応	鳥飼仁和寺大橋有料道路へのネットワーク型ETCの整備	☆	導入	—	—	—	—	導入	5	—	—	料金所において感染防止対策を講じているが利用者からは感染を不安視する声やETC導入の要望が寄せられていることから、ネットワーク型ETCを導入しコロナ禍における道路サービスの提供を行うもの	ネットワーク型ETC整備にかかる費用については、国主導による100%助成金を活用するとともに、施工者を始め関係機関と密に協議を行うとともに、進捗状況を把握し一日も早く利用者へ届けられるよう努める。(令和4年2月1日予定)
						—							
③ 利用台数及び安定的な事業収入の確保	日平均交通量		台	10	19,968	17,096	20,221	10	20,554	20,554		収支見込をたてる管理指標として、各路線の今年度状況と今後のワクチン投与拡大による新型コロナウイルス感染の改善を見込み、利用台数の見込として設定	各路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報を適切な時期に発信するとともに、新型コロナウイルス感染状況とその対策を注視しながら、適宜、交通量の増減要因を的確に分析する。
						〔18,859〕							
						12							
	利用促進策の効果的な実施		項目	5	12	×	—	—	—	—	公社職員が利用者等の方々と触れ合える利用促進活動	各路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用者のニーズ等を捉えて利用促進策を実施する。	
	利用促進策等の効果的な情報発信	☆	項目	—	—	—	8	5	—	—	コロナ禍を踏まえた各路線の知名度や利便性の周知度の向上を図る利用促進策や路線情報の取り組み	路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報をソーシャルメディア、運輸・サービス業の企業、観光協会などを活用して適切な時期に発信する	

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

③ 利用台数及び安定的な事業収入の確保	有料道路料金収入		百万円	10	1,821	1,501	1,886	10	1,933	1,933	各路線の今年度状況と今後のワクチン投与拡大による新型コロナウイルス感染の改善を見込んだ利用台数と前年度の平均単価から設定	観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、路線情報リーフレットの発行を行うとともに、その内容をソーシャルメディア、運輸・サービス業の企業、観光協会などへ大阪府と連携し情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。	
						〔1,716〕							
⑤ 維持管理方針に基づく計画的な維持管理	適正な維持管理費の執行		百万円	15	984	967	↓1,071 〔2,981 3年間合計〕	10	1,026	1,026	〔2,983以内 3年間合計〕	ITVカメラ等監視制御設備補修工事、中央分離帯の防水工事等の補修工事、キャッシュレス化に伴うシステム利用料等の費用を計上	「大阪府道路公社維持管理方針」に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するが、維持管理費の執行にあたっては、事業実施の内容や方法をより精査するとともに、競争性の確保などにより、コスト削減を図りつつ目標金額以内で執行していく。
						〔925〕							
⑥ 法人経営の安定性の確保	コスト縮減		百万円	10	72	17.0	17	10	17	17	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト削減の取り組みによる縮減見込額を計上	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト削減の実施を継続。	
						〔24〕							

【凡例】

- ・☆はR3年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

大阪府道路公社

C S 調査の実施概要

○令和 2 年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	箕面有料道路利用者	825人	令和 2 年11月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>【箕面（令和 2 年度実施）】</p> <p>総合的な満足度（普通以上94.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分に満足：111人（13.5%） やや満足：328人（39.8%） 普通：339人（41.0%） やや不満：37人（4.5%） 非常に不満：10人（1.2%） わからない：0人（0%） <p>利用者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 便利（時間短縮）、走りやすい、キレイ 有料ならば入り口にもっと有料の案内をするべき 	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内誘導の強化策の検討 <p>（今後実施予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内誘導の強化については、新名神高速道路及び国道 4 2 3 号からの誤進入車があることから、管理者であるNEXCO西日本や大阪府と対策に関する協議を行い、対策の必要性の共有が図れた。 具体策については、R3年度実施に向けて、引き続き協議を行う。

○令和 3 年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	鳥飼仁和寺大橋有料道路利用者	800人	令和3年11月

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
利用促進策の効果的な 実施	項目	12	6

未達成の 要因と分析	新型コロナウイルス感染防止対策として、参加予定としていたイベントの中止等により広報活動ができなくなったため
---------------	---

今後の 改善方策	今後も新型コロナウイルス感染防止対策として、各種イベントの開催が中止されることを踏まえ、R3年度はソーシャルメディア、運輸・サービス業の企業、観光協会などへの情報発信を強化することとし、各路線の知名度や利便性の周知が図られるよう努める。
-------------	--

〔2〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕

未達成の 要因と分析	
---------------	--

今後の 改善方策	
-------------	--

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値
利用促進策の効果的な 実施	項目	12

●変更後（新規追加項目）

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
利用促進策等の効果的 な情報発信	項目	8

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	新型コロナウイルス感染防止対策として、参加予定としていたイベントの中止等により広報活動ができなくなったことを踏まえ、コロナ禍に配慮しつつ、周辺高速道路渋滞時の迂回路に利用して頂くなど、認知度を上げるような広報活動を実施する。
------------------------------	--

〔2〕

●変更前

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値

●変更後

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	
------------------------------	--

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

■ 令和2年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
維持管理費	百万円	〔925〕	1,071

マイナス (現状維持) 目標の考え方	維持管理費については、日常的な維持管理のほか、5年に一度の定期点検等に基づく計画的な補修や更新を行うため、年度により増減がある。 今年度については、鳥飼仁和寺大橋有料道路で中央分離帯部の防水工事やキャッシュレス化に伴うシステム利用料、箕面有料道路でITVカメラ等監視制御設備補修工事等の費用を計上し、計画的・効果的な維持管理を行うこととしている。 また、中期経営計画【2019年度～2021年度】期間内の維持管理費合計については、目標額の範囲内になっている。 R1～R3 3年間合計額：中期計画 2,983百万円以内 ：実績見込 2,981百万円
--------------------------	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
/			

マイナス (現状維持) 目標の考え方	/
--------------------------	---